

羽曳野市立萱田中学校 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

調査要領に記載されていますとおり、本調査結果は、本校生徒の学力や学習状況、生活習慣を一定把握するものです。学校の教育活動の一側面として、今後とも子どもたちの学力、学習意欲の向上に努めてまいりますので、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

(令和5年4月・3年生にて実施)

【1】結果分析

【国語】

成果と課題	<p>〈成果〉</p> <p>○「知識・技能」に関する関心は比較的高く、語句の意味を捉えることや漢字を正しく書くことはおおむねできている。</p> <p>〈課題〉</p> <p>○「読むこと」に関するすべての問題において、大阪府、全国と比べてマイナスポイントとなった。文章の構成や展開、表現の効果について考えたり、文脈の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、要旨をとらえたりすることに課題がある。</p> <p>○とりわけ、自分の考えを相手に明確に伝えるように、自分の言葉でまとめる趣旨の問題も、すべての問題においてマイナスポイントであり、かつ、記述式問題は無回答率が20%前後であることから、大変苦手意識を持っているように見受けられる。</p>
改善方針	<p>○自分の考えを記述することに対する苦手意識を少しでもなくすために、単元ごとに学んだことを振り返り、書かせる。その際、単に文章を書くのではなく、一定条件を設けることとする。</p> <p>○文章を読んで知識を広げたり、自分の意見をもったり、自分の考えを深めたりし、それを自分の言葉でまとめたものを相手に伝える機会を増やす。</p> <p>○文章の論理の展開の仕方、構成や展開がどうなっているのか、また、いち早く文章の中心的な部分を見つける解き方のテクニックを身につけさせる。</p>

【数学】

成果と課題	<p>知識・技能を評価する問題の正答率が本校 50.1%(大阪府 55.1%, 全国 55.7%)であった。1, 2年次に毎時間の計算練習等の取組みを実施してきたが、課題が残る結果である。</p> <p>思考・判断・表現力を評価する問題の正答率は本校 38.1%(大阪府 39.6%, 全国 41.6%)である。対比でマイナスポイントではあるが、対大阪府、対全国ともにその差が小さくなる結果を得ることができた。</p> <p>学習指導の領域別では、数と式の領域の正答率が本校 59.1%(大阪府 63.2%, 全国 63.0%)であった。改めて計算方法や数の意味の理解などの基礎に力を注がなければならない結果である。</p> <p>図形の領域の正答率は、本校 25.3%(大阪府 33.4%, 全国 33.4%)であった。空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解することや、証明を根気強く考察する機会を増やしていく等の対策が必要である。</p>
-------	--

改善方針	<p>今年度、本校の全体の正答率は 46%で、これは大阪府 50%、全国 51%を下回る結果である。しかし、中央値を見ると、大阪府と等しく 7.0 である。このことから、全体の解く力の底上げをめざしていく必要がある。このことから、いくつかの目標をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業では学び合いの時間を増やし、わからないをほったらかしにしない集団づくりをめざす。 ○繰り返し、継続して解くことの習慣をつける。そのために宿題、課題にきちんと取り組ませる。 ○基礎基本の定着に向けて、ミライシードを活用し復習に力を入れる。また、関数や図形領域では、考察を含めた問いを日頃から取り組ませていきたい。 	

【英語】

成果と課題	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」に関しては、情報を正確に聞き取ることは概ねできている。これは、本校では、授業の中でリスニングを継続的に行ったり、ALT による授業を積極的に取り入れている成果だと考えられる。 ○「読むこと」に関しては、日常的な話題について、短い文章の概要を捉えたり、文と文の関係を読み取ることにはできている。これは授業の中で、音読を継続的に取り入れることで読むことに慣れ、短い文章の内容を読み取る演習を行っている成果だと考えられる。 ○「書くこと」に関しては、与えられた単語を適切な形に変えたり、不足している語を補うなどのような基本的な文法問題は理解できている。普段から文法演習にじっくり取り組み、復習を繰り返し行っている成果だと考えられる。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」に関しては、情報を正確に聞き取った上で、さらに自分の置かれた状況などから判断したり、社会的な話題について要点を捉えるというような思考・判断・表現分野の正答率が低い。 ○「読むこと」に関しては、状況を描写する英文を読み、グラフを読み取ったり、考えを表している英文を選択するなどの思考・判断・表現分野の正答率が低い。 ○「書くこと」に関しては、英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を書く、まとまりのある文章で説明するなど、考えて文章で表現する問題の正答率が低い。
改善方針	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の読解力を高めるために、短い文だけでなく、まとまりのある文を聞いたり、読んだりする機会を増やしていく。内容を読み取った上で、思考・判断・表現分野の問題演習を重点的に行う。 ○短い文だけでなく、まとまりのある文を書く機会を増やす。書き方のポイントを説明し、自分の考えを既習の単語や文法を使って表現する演習を取り入れる。 ○身近な話題だけでなく、社会的な話題への興味・関心を広げていけるよう、教材を工夫して指導していく。

【2】生徒アンケート結果(大阪府・全国は今年度の数値)

数値は「とても当てはまる」「当てはまる」の肯定回答を合計している

1 生活習慣 ○設問 ()は設問番号

朝食を毎日食べている生徒の割合が、大阪府平均を上回っているのは、本校の食育の成果だと考えられます。毎日、同じくらいの時間に起床・就寝ができている生徒の割合も多く、生活リズムはほぼ整っていると言えます。

○朝食を毎日食べていますか。(1)

本校	89.9 %
大阪府	88.7 %
全国	91.2 %

○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。(2)

本校	79.7 %
大阪府	77.2 %
全国	78.0 %

2 家庭学習の状況

自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が府・全国平均より低く、家庭学習の進め方に課題があると言えます。また平日の家庭学習の時間が、「30分以下」「全くしない」の割合が、府・全国平均を大きく上回っています。家庭学習を習慣づけ、質と量、両方の向上をはかっていけるよう、学校と家庭が連携していく必要があります。

○家で自分で計画を立てて勉強していますか。(学校の授業の予習や復習を含む)(16)

	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない
本校	12.3 %	31.2 %	33.3 %	23.2 %
大阪府	14.8 %	35.9 %	32.4 %	16.8 %
全国	15.3 %	39.7 %	31.9 %	12.9 %

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(17)

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
本校	11.6 %	21.7 %	26.8 %	12.3 %	19.6 %	8.0 %
大阪府	14.5 %	24.5 %	26.8 %	13.7 %	10.5 %	9.8 %
全国	10.3 %	23.4 %	32.1 %	18.0 %	9.9 %	6.0 %

3 学校での学習状況 数値は「とても当てはまる」「当てはまる」の肯定回答を合計している。

自分の考えを班や学級で話し合ったり、聞き手にうまく伝わるよう工夫して発表していた生徒の割合が、府・全国を上回りました。これは本校では、授業中に自分の考えを発表する機会を多く取り入れている成果だと考えられます。課題としては、問題解決に向けて自分で考え、主体的に取り組めた生徒の割合が低かったので、授業の中でそのような活動を意識して取り組んでいきたいです。また、学習した内容を次の学習につなげていけるよう、振り返りも継続して行っていきたいです。

○1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。(36)

本校	64.5 %
大阪府	64.4 %
全国	62.1 %

○1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。(37)

本校	68.8 %
大阪府	77.0 %
全国	69.1 %

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。(41)

本校	58.0 %
大阪府	67.9 %
全国	69.2 %

○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。(46)

本校	87.0 %
大阪府	82.0 %
全国	86.3 %

4 教育活動の成果と保護者の協力

「集団づくり」に取り組んでいる本校では、班活動や学級活動、学年・学校行事を通じて、自己肯定感を高め、仲間との良好な関係を築けていると感じます。「学校に行くのは楽しい。」という生徒の割合も、府・全国平均を大きく上回っています。いじめや差別を許さないという人権意識も高く、保護者の方の学校教育活動に対するご協力の成果だと考えられます。今後は、地域のために何かをしたいと思っている生徒が、地域の行事に積極的に参加できるよう支援をしてきたいです。

○自分にはよいところがあると思いますか。(4)

本校	85.5 %
大阪府	77.7 %
全国	80.0 %

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(9)

本校	95.7 %
大阪府	94.8 %
全国	95.5 %

○学校に行くのは楽しいと思いますか。(12)

本校	91.3 %
大阪府	87.9 %
全国	88.7 %

○友達関係に満足していますか。(14)

本校	87.0 %
大阪府	79.7 %
全国	81.8 %

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。(29)

本校	29.7 %
大阪府	32.4 %
全国	38.0 %